

2016年10月11日

松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本設計等委託業務プロポーザル審査  
審査講評

松阪市立鎌田中学校校舎改築事業  
基本設計等委託業務プロポーザル審査委員会  
委員長 小松 尚

松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本設計等委託業務プロポーザル審査（以下、本プロポーザル）に対しては、厳しい設計条件にもかかわらず11の企業体から応募があり、それぞれから新校舎の空間ならびにその設計プロセス、実施体制等についてさまざまな創意工夫と熱意のあふれる提案をいただいた。応募された全ての企業体に対して、審査委員会を代表して心からの敬意と御礼を申し上げたい。

応募締め切り後の審査の経緯については、まず、提出された各企業体の技術提案書の記載内容を対象に、事前に決定した審査評価基準に従って1次審査を行い、提案内容を直接ヒアリングする2次審査の対象となる6企業体を選定した。2次審査は公開で行い、多くの市民等が傍聴する中で、各企業体が15分の発表を行い、その後15分の質疑を行った。関係者の協力のおかげで発表と質疑は予定通り、また問題なく実施された。このヒアリング終了後に審査委員5名が厳正な最終評価を行い、最も優秀な提案をしたと判断される企業体と次点の企業体を決定した。

以下に、最優秀および次点、並びに2次審査に残ったものの非選定となった企業体の提案について講評を記す。

《最優秀企業体》

K社（石本・アスカ特定建築設計共同企業体）

この敷地に対する歴史的経緯を含めた深い理解に基づきながら、校舎を3層かつコンパクトにまとめて、グラウンド等を大きく確保した計画方針が高く評価された。また、本校舎改築の基本構想・基本計画における特色の一つである「鎌中ストリート」への理解度とその空間提案に対しては、3層の校舎の2階までを地域開放できるようにするなど、セキュリティと交流のバランスがとれた計画であると評価された。さらに、わかりやすい発表や質疑の様子から、今後の設計プロセス、特にワークショップでの丁寧な対応が期待できると判断された。その他の点についても、豊富な学校建築の設計経験に基づく丁寧な検討が行われており、以上の点を総合的に検討した結果、最優秀者として選定することになった。

一方、コンパクトさを追求したために新校舎の内部空間がやや窮屈な構成になることへの懸念、3階の普通教室群の学年毎の区切り方や教室に架かる屋根形状のあり方、新校舎完成時の段階における新規に購入された南東の土地の使い方についての検討の必要

性、などについては今後の協議の中でさらなる検討を求めたいという意見があり、この場を借りて付言しておきたい。

#### 《次点》

B社（シーラカンズアンドアソシエイツ・ヨネダ設計舎特定建築設計共同企業体）  
提案書の内容やヒアリングでの発表内容、質疑での対応から、学校建築に対する豊富な経験に基づく創造性あふれる空間と設計プロセスが提案されていると判断された。「鎌中ストリート」についても、基本構想の趣旨を最も忠実かつ魅力的に建築化した提案であった。また、質疑のやりとりからもきわめて高い創造力や技術力、コミュニケーション力を有した設計者であると評価された。しかし、新校舎を2層とすることにより、広いグラウンド等の確保が難しくなることが予想され、総合的な評価として最優秀者に及ばず、次点となった。

#### 《非選定企業体》

##### C社

「鎌中ストリート」を外部の通り抜け空間としたことで、基本構想における「鎌中ストリート」の趣旨を十分に具現化できていないことや、3学年の普通教室を2層にわたって配置したことによって学年毎のまとまりが作りづらい等の計画上の課題があり、高い評価を得るには至らなかった。

##### D社

新校舎を3層にまとめた案であるが新校舎が占める範囲が比較的広いこと、新校舎の地域サロンやアートテラスの増築工事が平成32年度の実施される計画であること、学年クラスターの中で教室群が2層に分かれること等の計画上の課題があり、高い評価を得るには至らなかった。

##### G社

「あいあいギャラリー」という大屋根をかけた半屋外空間の提案は評価されたが、この半屋外空間と新校舎の関係がやや弱いこと、また長い2つの廊下など新校舎の内部空間がやや単調であると考えられ、空間的な創造性の点でさらなる工夫の余地があると考えられた。またワークショップについても抽象的な内容に留まり、ヒアリングでも明確にならなかった等の点から、高い評価を得るには至らなかった。

##### H社

「鎌中ストリート」の趣旨に沿った建築づくりに努めた提案であり、同時に教室周りの提案もとても魅力的かつ実現性の高い提案であった。また、2次審査のヒアリングにおける発表や質疑からは、若い設計者の思いと意気込みが感じられ、好感がもてた。しかし、新校舎を2層にしたことや東の都市計画道路に対する顔として配置された地域の拠点空間によって、グラウンド等がやや狭小になる等の点から、総合的には高い評価を得るには至らなかった。

最後に、松阪市役所と鎌田中学校および鎌田中学校区の関係各位に対しては、本プロポーザルの実施におけるご尽力に心より御礼を申し上げますとともに、基本設計、実施設計が選出された企業体との綿密なコミュニケーションによって、円滑に進められ、実りあるものになることを心から祈念している。

以上